

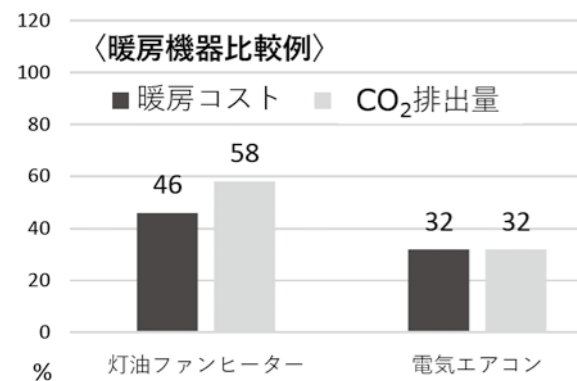
「信州版冬の省エネガイドブック」より
楽しく、無理なく、得をする！

長野県は、一世帯人数が全国平均よりも多いせいか、世帯あたりのCO₂の排出量は全国平均の約**1.5倍**。排出量の割合は**自動車**が最も多く、次に**暖房、電気器具**の順となっています。

※「信州版 冬の省エネガイドブック」長野県地球温暖化防止活動推進員有志が編さん。楽しく！無理なく！得をする！をテーマに、省エネのための具体的な実践例を掲載しています。「長野県地球温暖化防止活動推進センター」のホームページからダウンロードできます。

① **暖房器具 エアコン利用(ヒートポンプ)のすすめ**

寒さの厳しい信州の冬。暖房器具は暖かく、コストが安く、CO₂排出の少ない器具を選びたいもの。著者の家庭で使用する暖房器具を比較計算をしたところ、灯油ファンヒーターより電気エアコンの方がコスト、CO₂排出量ともに少ない結果となりました。



ヒートポンプは「再生可能エネルギー」利用技術

最近のエアコンのCO₂排出量が少ない理由は、「ヒートポンプ」という空気中の熱などをくみ入れる技術が使われているからです。このヒートポンプは、「再生可能エネルギー」を利用する技術として位置づけられています



※機器別の性能、エネルギーコスト(単価)が異なれば数値は変わります。
 ※数年前に計算した例です。概略の参考としてください。

② **自動車のかしこい使い方は**

エコドライブのすすめ (環境省ウェブサイト「エコドライブ10のすすめ」から抜粋)

- **自分の燃費を把握しよう** 日々の燃費を把握するとエコドライブの効果が実感できます。
- **ふんわりアクセル「eスタート」** やさしい発進を心掛けるだけで10%程度の燃費が改善します。
- **タイヤの空気圧から始める点検・整備** 空気圧不足で4%程度、燃費が悪化します。
- **渋滞を避け、余裕も持って** 10分間余計に走行すると17%程度、燃料消費量が増加します。
- **不要な荷物を降ろそう** 荷物100kgで3%程度、燃費が悪化します。

ゼロカーボンの疑問…

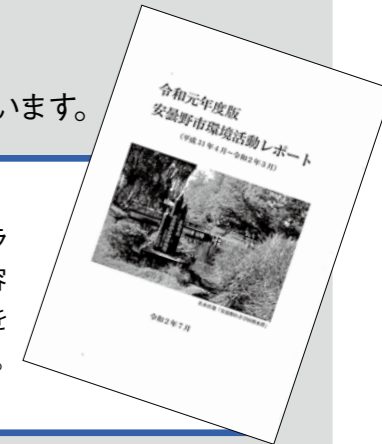


たしかに人間は呼吸でCO₂を出しています。でも元をたどれば、空気中にあったCO₂を光合成で取り入れた**植物(野菜・果物)**や、その植物を食べた**動物(牛・豚・鶏など)**を、人間が**食べ物**としてCO₂ごと体内に取りこんだもの。CO₂は空気中に戻るだけで増えるわけではないから、息をしても大丈夫です

出典:「2050 ゼロカーボンチャレンジ」長野県環境保全協会

■問い合わせ 環境課環境政策係 (TEL)71・2492 (FAX)72・3176)

市の事業も、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。また、助成メニューなどにより市民の省エネ・資源活用を推進しています。



● **エコアクション21**

市職員全員が温室効果ガスを削減するため、環境省が策定した環境活動評価プログラム「エコアクション21」に取り組んでいます。各課の取り組み内容・目標・活動内容を設定しPDCAシートを作成。自転車利用、松枯材の有効活用、園児の食べ残しを減らすための工夫、学校教育でのSDGsを意識した授業などをそれぞれ実践しています。活動結果の「安曇野市環境活動レポート」は市のホームページで公表しています。

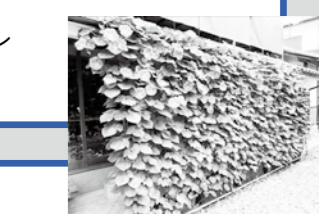
● **住宅用太陽光発電システム設置への補助**

新エネルギーによる自然環境保全のため、2001年度から住宅用太陽光発電システムの設置助成を行っています(上限10万円)。令和元年度は154件の補助申請がありました。 ※今後補助内容が変更になる場合もあります。



● **緑のカーテン**

真夏の暑い日差しを遮り、冷房の使用による電気使用量を削減するため、住宅のベランダや軒下でヘチマやアサガオなどでつくる「緑のカーテン」の普及に取り組んでいます。



● **安曇野環境フェア**

「豊かで美しい自然環境を守り、快適な生活環境を次代につなぐまちをつくろう!」をコンセプトに安曇野環境フェアを開催しています。例年、約2,000人が来場し、体験プログラムなどを通じて、環境に対する情報を共有し、つながりの環を広げています。

2022年度までに25%の削減を

市の温室効果ガス排出削減目標は、2022年度までに2008年度比25%以上を削減(安曇野市温暖化対策実行計画)することです。まずは、この達成に向けて取り組みます。さらに、国や県、関係団体とも連携を密にして、2050ゼロカーボン実現に向けた取り組みを強化します。

持続可能な地域づくりに向けて



安曇野市長 宮澤宗弘

安曇野市はこのほど、県の「気候非常事態宣言」、また、社会的課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて「SDGs日本モデル宣言」への賛同を表明しました。市では、2018年に策定した第2次安曇野市環境基本計画などで地球温暖化への対応と目標値を定め、市民・事業者・行政が連携した温暖化対策に取り組んでいます。安曇野でも生物多様性をはじめとした自然環境や生活環境が脅かされつつあります。私たちの共有財産である郷土の恵まれた環境は、次の世代に引き継がなければなりません。省エネ、再生エネルギーの活用、緑化などの取り組みとともに、市の環境施策に対し、一層のご理解とご協力をお願いします。